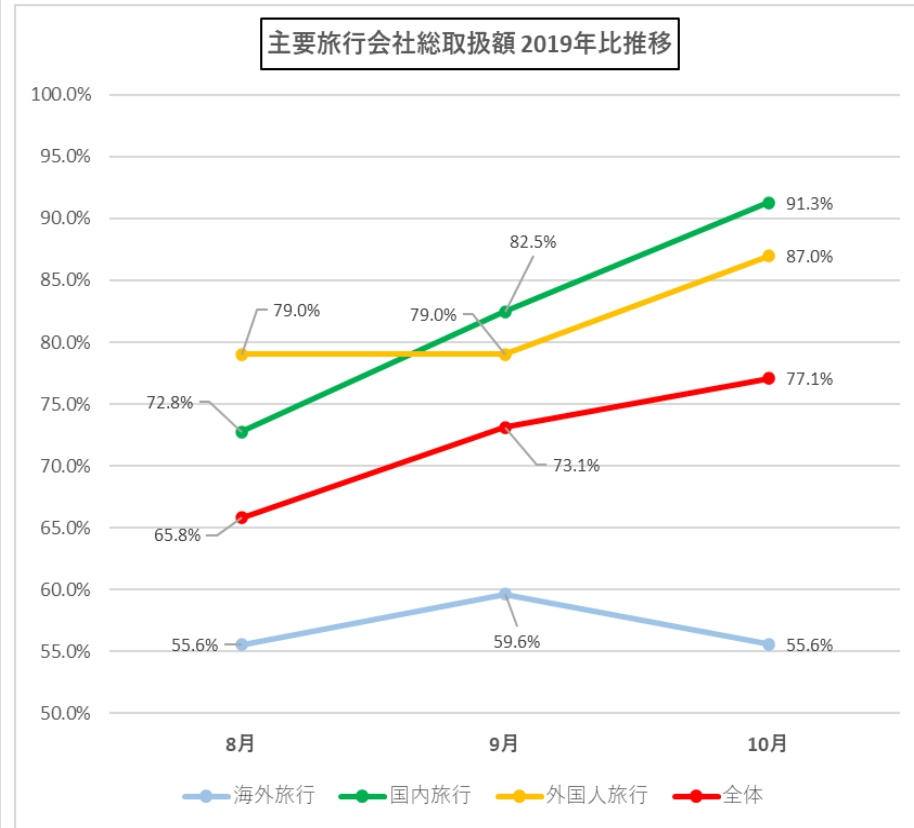
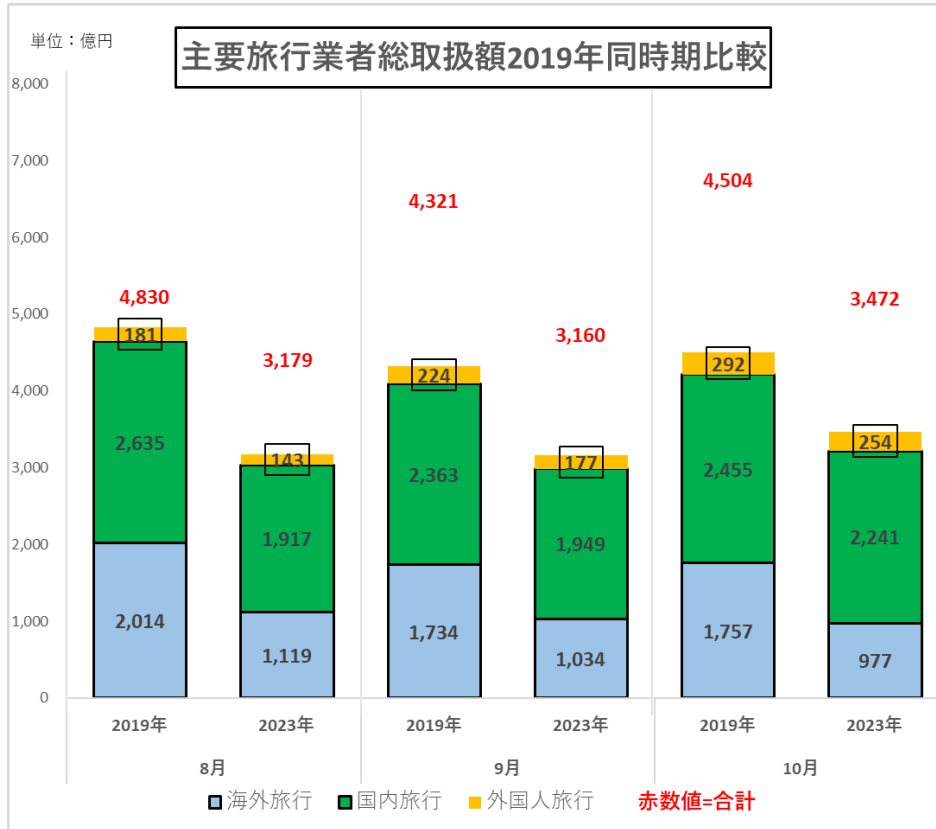


# 2024年 新春記者会見資料

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. <マーケット 動向>       | <u>主要旅行業者総取扱額</u>             |
| 2. <海外復活>           | <u>60周年、2国間交流など</u>           |
| 3. <訪日取組>           | <u>高付加価値化、持続可能な観光など</u>       |
| 4. <人手不足>           | <u>観光学習、インターンシップ、JATA未来塾他</u> |
| 5. <観光DX、生産性向上>     | <u>観光産業共通プラットフォーム</u>         |
| 6. <平日分散>           | <u>国内旅行キャンペーンリニューアル</u>       |
| 7. <ツーリズムEXPO 2024> |                               |

# 1. <マーケット動向>



※外国人旅行は日本の旅行会社による取り扱い

## 2. <海外復活>

### 1. 「海外旅行自由化60周年」

JATAとして共通ロゴ・キャッチフレーズの公募・作成・告知

→双方向観光交流における「海外旅行の重要性」を業界メッセージとして発信

### 2. 日米観光交流年 2024年1月～2025年3月

双方向観光交流の継続的拡大に向けた引き金となる施策・イベントを米国・日本で展開

(日本側：観光庁、JNTO、JATA 米国側：商務省、在日米国大使館、Brand USA)

#### ■ 日米両国において、テーマを絞った交流事業の開催

→姉妹都市交流を活用した観光交流の回復・拡大

#### ■ 交流年のシンボルとなるスポーツをコンテンツとした観光イベントの開催

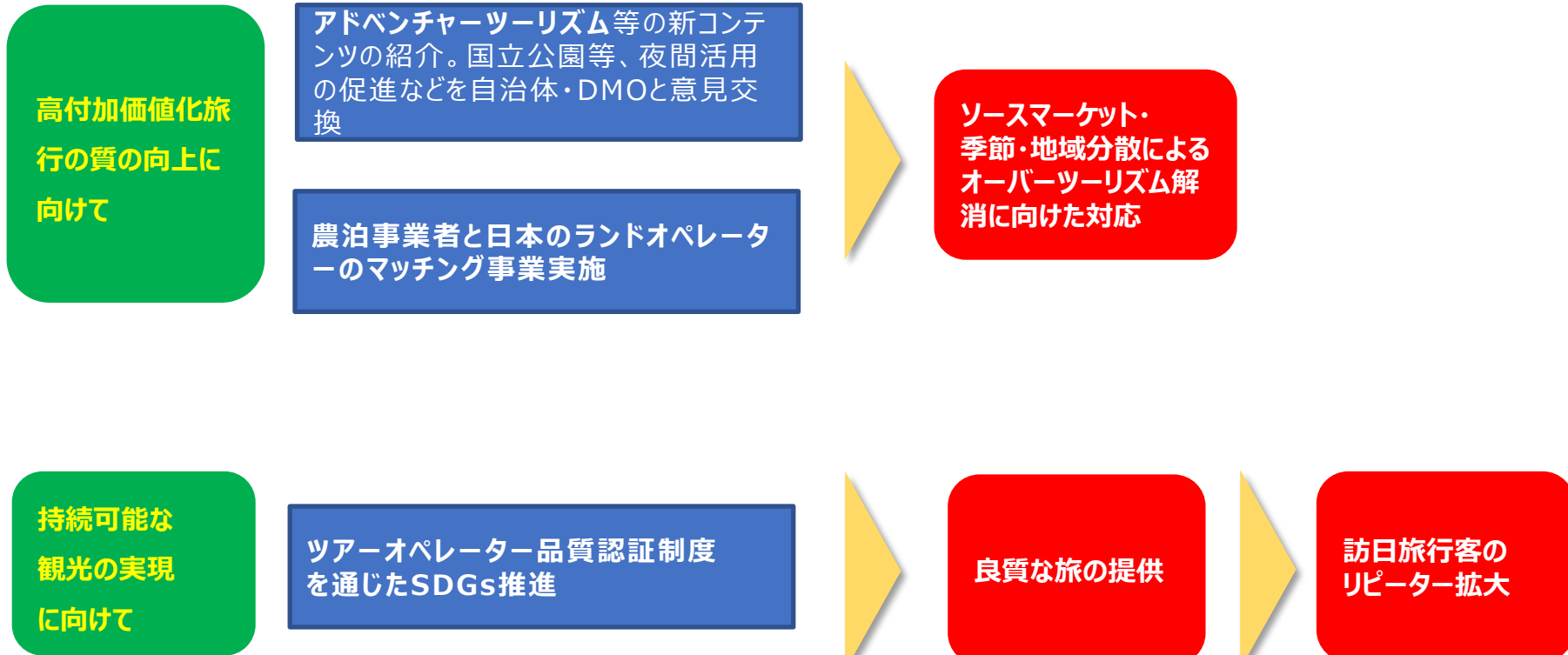
(MLB/NPBの協力)



U.S. - JAPAN  
TOURISM YEAR 2024  
日米観光交流年 2024

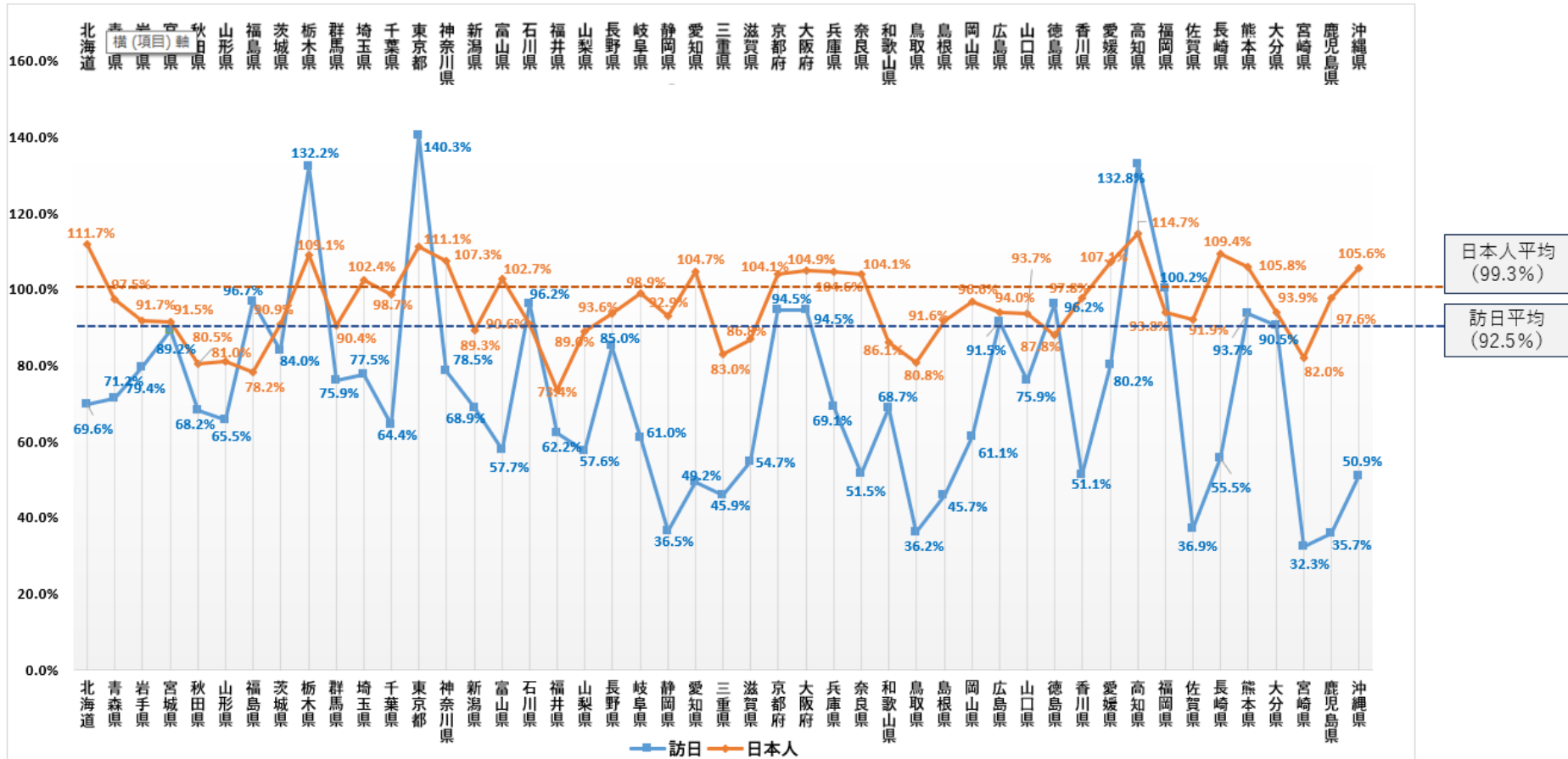
### 3. <訪日取組>

#### 高付加価値化、持続可能な観光の実現に向けた取り組み



### 3. <訪日取組> 補足

## 2023年都道府県別訪日 & 日本人回復状況 (1~10月累計延べ宿泊者数：対2019年)



出典：観光庁宿泊旅行統計調査

## 4. <人手不足>

### ◆観光学習機会の拡大

中学校や高校における学校学習において、観光学習の機会を増やすことで、日本の有力な成長産業、地方創生への切り札である観光産業への興味関心を喚起する。日本観光振興協会と連携し当該取り組みの拡大、浸透を図る。



「副読本PDFデータ」 「教育現場に向けた観光教育副読本」

### ◆JATA合同インターンシップを開催

旅行業界への就職を第一志望に考える大学3年生を対象に旅行業界の最新事情や魅力を伝える。業界概要や就活に関するセミナー等の講義と成果発表、会員会社における就業体験とあわせ合計6日間のプログラム。

## 2023年度実績

8/26	▶講義「職業としての旅行業」
	▶セミナー「納得感ある就活の秘訣」
8/28-29	▶就業体験Ⅰ ※
8/30-8/31	▶就業体験Ⅱ ※
9/1	▶グループ討論と発表/実習の振り返り

※業態の違う2社で各2日間の就業体験

**参加学生**：46名（大学数：14校）

「観光系学部」のある学校 ※一部除く

亜細亜大学、跡見学園女子大学、桜美林大学、川村学園女子大学、杏林大学、帝京平成大学、東洋大学、獨協大学、日本大学、文教大学、明海大学、明治大学

立教大学、早稲田大学

**受入企業**：11社

近畿日本ツーリスト(株)、(株)JR東日本びゅうツーリズム&セールス、(株)JTb、(株)ジャルパック、東武トップツアーズ(株)、T-LIFEホールディングス、(株)日本旅行、(株)農協観光、(株)阪急交通社、名鉄観光サービス(株)、(株)読売旅行



「合同インターンシップ 2023年実施の様子」

## 4. <人手不足>

### ◆JATA旅行・観光業界就職セミナーを開催

旅行・観光業界に関心のある新卒学生を対象とした業界特化型セミナーを(株)ジャタと共同開催。昨年は、25の会員企業が出展。およそ200名の学生が参加。業界への高い関心を持つ学生に対し、会員企業が持つ特色や強みを直接伝える機会を提供。学生と会員のマッチング支援を行い、業界への人材獲得を図る。



### ◆JATA旅行未来塾を開催

会員各社が“人材”に関して抱える課題解決へのきっかけ作りと社員のモチベーションアップを目的として2022年度より実施している階層別研修。

### 2024年度実施予定

	年次等対象	開催日	開催都市	定員	募集開始予定
管理職編	マネジメント経験が5年未満の部下がいる管理職	2024年8月1日(木)～2日(金) 2日間	東京	30名	2024年5月
中堅社員編	入社6～9年目以降(目安)の管理職手前の中堅社員	2024年12月9日(月)～10日(火) 2日間	東京	30名	2024年9月
若手社員編	入社2～5年目位(目安)の若手社員	2025年2月17日(月)～18日(火) 2日間	東京	30名	2024年11月



「JATA未来塾」2022年実施の様子



## 5. <観光DX、生産性向上>

# 観光産業共通プラットフォームとは

## 1. プラットフォーム構築に至る経緯

コロナ禍で大きなダメージを受けた観光産業において、業界が一丸となって取り組めば改善・解決できる課題はないか？



まずは宿泊施設と旅行会社の間で双方非効率になっている業務に焦点を当て、業務を一元化・プラットフォーム化することにより、業界全体の生産性向上を進め、顕在化している人手不足課題への対応や、品質向上、高付加価値化など健全な競争に経営資源をシフトできることを目的に、その第一歩として観光産業共通プラットフォームを構築するに至った



観光立国推進基本計画で掲げている「稼げる地域・稼げる産業」「持続可能な観光地域づくり」に向けた、見えない部分での「力」を生み出すための取組



## 5. <観光DX、生産性向上>

### 2. プラットフォームで実現すること

- ① 宿泊施設と旅行会社間の非効率な情報連絡体制の改善による生産性向上および高付加価値業務への人的リソースシフト
- ② デジタル基盤の活用による観光産業全体のDX化促進
- ③ 災害時の正確な情報集約・発信による混乱回避および風評被害の最小化による被災地の早期復興

12月1日より全機能運用開始（災害時情報集約機能は7月に運用開始済）

現在、宿泊施設約5,000軒、旅行会社83社がシステム利用

2023年度中に宿泊施設7,000軒、旅行会社（及び自治体・DMOを含む）200社を想定

## 6. <平日分散>

# 2024年度 国内旅行キャンペーンについて

2023年度は「笑う旅には福来る」国内旅行キャンペーンを実施しておりますが、  
2024年度は内容をリニューアルし、平日需要の喚起を主目的として下記の要領で計画しています。

## <2024年度国内旅行キャンペーン（案）>

混雑を避けて、**ゆ**っくり、**の**んびり **平日に泊まろう！** キャンペーン

時期分散、休日の取得促進等により需要を平準化し、オーバー ツーリズム解消や、  
混雑緩和による旅の満足度UPを目指して、平日旅行を推進する  
キャンペーンを展開します。 抽選によるプレゼントも、  
平日旅行参加者に限定し、次回の旅行に使える  
旅行クーポンが当たるという、シンプルな 内容を予定しています。



キャンペーンロゴ（イメージ）  
※確定したものではありません。

## 7. <ツーリズムEXPO 2024>

**ツーリズム EXPO ジャパン  
2024**

2024年  
**9/26(木) - 9/29(日)**

**東京ビッグサイト**

開催時間	業界・プレス	一般
26日(木)	10:00~18:00	
27日(金)	10:00~18:00	
28日(土)		10:00~18:00
29日(日)		10:00~17:00

**主催** 公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、日本政府観光局

**共同開催** / トラベルソリューション展 2024 (予定)